

整備スケジュール案

✓ 整備に向けた目標・課題を整理した

<スケジュールに関わる施設の状況>

<現状の意向・目標および課題>

① 社会教育複合施設は**大熊町のシンボリックな施設**となりうる

- ✓ 検討委員をはじめ各種専門家及び町民の意見を取り入ながら、議会承認を得ていきたい。
- ✓ 後世にも長く利用され、愛される施設を目指したい。
- ✓ 品質やデザインについても高いものを目指したい。

② **町民や利用者とともに作り上げる施設**としたい

- ✓ 整備段階ごとにワークショップ等の開催を行う予定である。
- ✓ 施設完成後の担い手を見据えたコミュニティ形成を整備段階から行いたい。

③ 複数用途・機能の導入により、**計画や設計が複雑**となる

- ✓ 上記②を取り入れ、4つの機能それぞれを尊重しながら融合していくために、設計者や施工者との十分な対話が必要（丸投げはできない）。
- ✓ 管理運営も見据えた計画も必要。

スケジュールに影響しうる相反する背景を考慮しながら、マスタースケジュールを検討しなくてはならない

④ 駅西エリアでは先行して産業交流施設・商業施設がOPENする

- ✓ 駅に最も近い施設として、できるだけ早くOPENすることが期待されている。
- ✓ 先行供用される施設・エリアへの利用者動線に配慮する必要がある（特に工事期間中）。

スケジュール
遅延リスクが
生じる

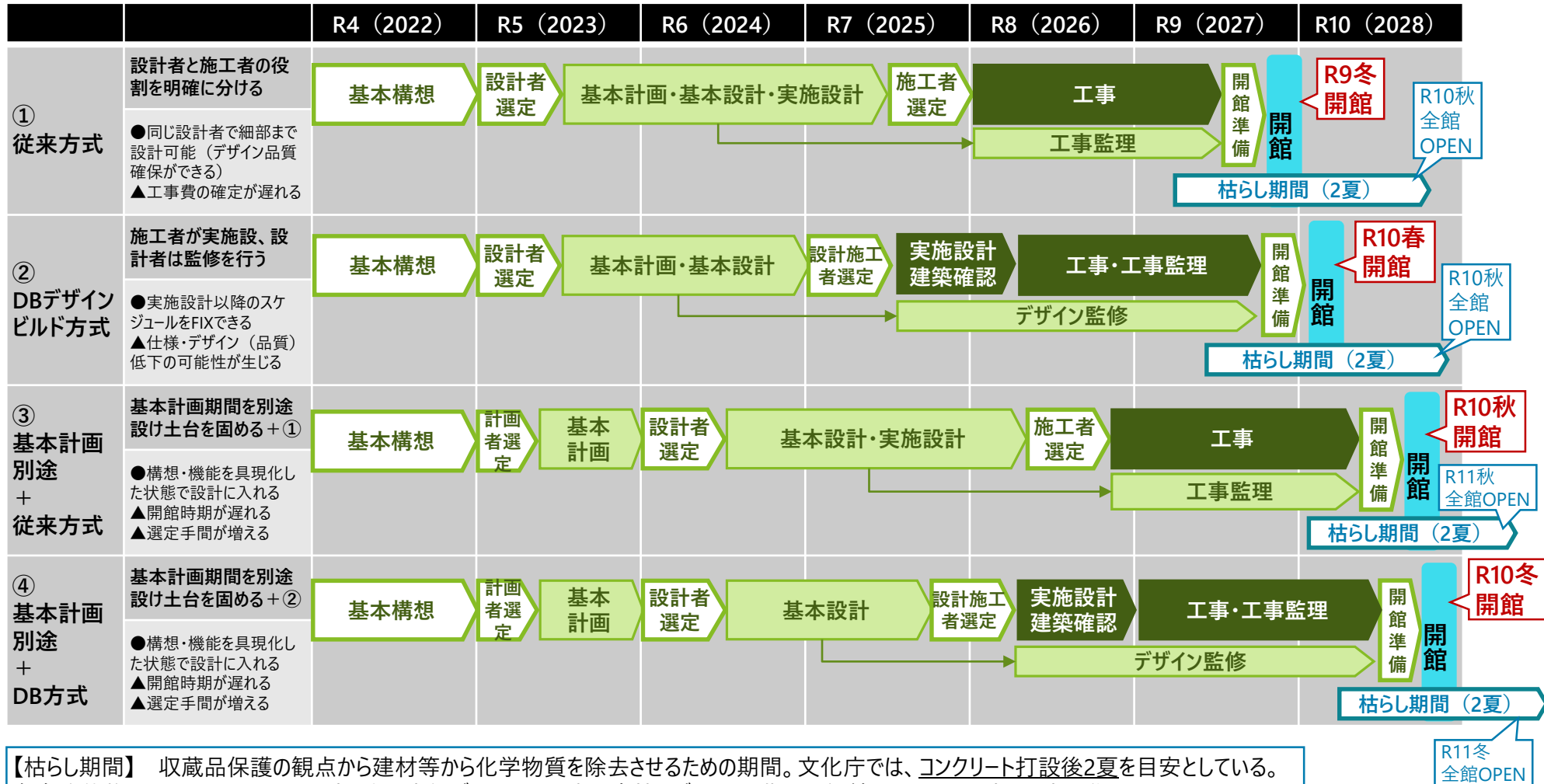
早い整備・
完成が求め
られる

スケジュールに影響する主な要因

課題・懸念点	要因（主に内的要因）
設計スケジュール遅延	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 議会報告および町民への公開タイミング遅れによる手戻り ✓ 町民参加ワークショップの開催 → 計画への反映調整 ✓ 駅西エリア内調整による与条件の変更

課題・懸念点	要因（主に外的要因）
工期遅延	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人件費、資材高騰による入札不調・不落（選定時） ✓ 社会情勢の影響による建築資材の高騰・入手困難（工事期間中）

整備スケジュール案



【枯らし期間】 収蔵品保護の観点から建材等から化学物質を除去させるための期間。文化庁では、コンクリート打設後2夏を目安としている。各自治体施設において運用での工夫を行う事例があり、大手建設会社などではこの期間を短縮するための研究・工夫も進んでいる。枯らし期間を設けない施設もあり、不確定要素も多いため、現時点におけるマスタースケジュールでは別途記載としている。